



勉強する子ども きたえる子ども やさしい子ども

# かわひがし

都城市立川東小学校 学校だより



令和7年度 第3号

令和7年5月30日

文責 校長

## 川東小 5月の様子

本校の木 やまもも

5月は教科の学習に加え、子供達が社会を生き抜くのに大切なことを学ぶ機会が多かったようです。



5月13日(火)に人権集会が行われ、生徒指導主事の先生が話をしました。

5月15日(木)に、都城警察署のご協力のもと、非行防止教室が行われました。SNSの活用についてお話いただきました。



人権集会では、「人には得意なことや苦手なこと、それぞれ違いがあること」など話してくださいました。学校は社会の縮図と言われることもあります。人と人が関わりをもつ以上、相手との違いは避けて通れないものだと思います。子どもたちには、相手の違いを認めた上で、自分の思いをしっかりと伝え、よりよい人間関係を築ける人になってほしいと思います。非行防止教室では「困ったことがあったら、大人に相談すること。」「ネットを使う時間など、家庭でのルールを決めてしっかり守ること。」などを話していただきました。

話は変わりますが、朝、校門前を掃除しながら、子どもを受け入れています。その姿を知ってか知らずか、6年生のボランティアグループが、少し殺風景だった校門前に花を植えたり、立ち止まって「毎朝、掃除をしてくださりありがとうございます。」と感謝の言葉を述べたりしている児童がいました。

心の温かい川東っ子に感謝です！



子供達に感謝！

## 校長のつぶやき「リスクの見積もりとは？」

先月の学校通信でICTをバランスよく活用できる児童を育てていきたいとお伝えしました。そのことについて、保護者の方から好意的なご意見をいただき、大変うれしく思います。今回は、前回の話をもう少し深掘りしたいと思います。少し前までは「子どもにスマホを買い与えない。」という考え方が主流でした。私個人としては、今でもその考えに賛成です。なぜならば、スマホは「遊び道具」ではなく「社会とつながるツール」だからです。ネットの社会では、子どもも「大人と同様の扱い」を受け、危険にさらされることも十分あります。しかし、中学3年生の9割がスマホを持っている現状から「スマホとの上手な付き合い方」を身につけさせることが現実的であるようです。そこで、現在、主流になっているのが、「リスク(危険性、問題点)を見積もる力」を身につけさせるという考え方です。

私が中学生を相手に「リスクの見積もり」の授業を行った時に、次のような質問をしました。

「皆さんがSNSで友達にされて嫌なのはどれですか？そう思った理由も考えてください。」

- ①すぐに返信が来ない
- ②知らないところで自分の話題が出ている
- ③自分が写っている写真が公開されている
- ④なかなか会話が終わらない



結果は①～④がほぼ同じ数に分かれました。そう思った理由を意見交換させた後、今日の授業でどんなことを感じたかを聞いてみると、子ども達から「嫌だと思えることは人それぞれ違う」という答えが返ってきました。私は「皆さんが気付いた通り、自分はよいと思っていることでも、相手は嫌だということもある。SNSでコミュニケーションをとる時に何に気をつければよいかを考えることが『リスクの見積もり』の1つです。」と伝えました。長々と書きましたが、大人が「SNSで人の嫌がることをしない」と言うことと合わせて、自分がすることにどんなリスクがあり、それを回避するためにどうするかを子ども自身に考えさせることも重要だと思います。ご家庭でも、「リスクの見積もり」という視点で、お子さんに声をかけていただけるとありがたいです。

## 6月の主な行事

2日(月)	はみがき週間(7日まで)	13日(金)	メディアコントロール週間
9日(月)	プール開き	18日(水)	鑑賞教室
	教育相談週間(13日まで)	26日(火)	参観日・学級懇談



←川東小ホームページ  
学校の様子を随時更新しています。  
ぜひご覧ください。



←学校通信の感想フォーム  
返信をいただき、ありがとうございます。  
よろしければ、6月23日までに入力してください。学校への要望等は返信できませんのでお控えください。